



サイコロを 振って 決めるとき

(協)熊谷流通センター
副理事長 大久保和政



トピックス 2p

平成20年新年会

ニュース 2p

第24回青経会通常総会

ニュース 3p

2008年3月末の株と円の大予想

ニュース 4p

熊谷中金会総会

今年、理事長より熊谷流通センターの将来に向けての在り方を策定する様に指示され、「将来計画委員会」の委員長を拝命した。

熊谷流通センターは開設以来32年を経過し、上下水道及び建物設備等のインフラも老朽化し、組合の運営のあり方等を含め、これから色々な問題を解決していかなければならない。

ふと、こんな話を雑誌で読んだことを思い出した。

ある企業のマネージャーが重要な開発プロジェクトの意思決定に直面しました。市場の調査と分析を徹底的に行い、会議でも衆知を集めて議論を尽くしたのですが、それでも開発に踏み切るべきか否かメンバーの意見がまとまりませんでした。そして誰よりも、その意思決定の責任者であるマネージャ

ー自身が決定できなかったのです。典型的なハイリスク・ハイリターンプロジェクトであり、不確実性が大きく、極めて難しい意思決定でした。しかし、意思決定のタイムリミットは来ていました。どうしても結論を出さなければなりません。会議のメンバーからは、「マネージャーが決めてください。」との声が無言で伝わってきます。メンバーはマネージャーの直感力に委ねようとの雰囲気です。そうした中でマネージャーは目をつぶり、しばし黙って考え込んでいましたが、ふと目を開けて言いました。

「よし、サイコロを振って決めよう！」啞然とするメンバーの前で、偶数ならプロジェクトの実施決定、奇数ならプロジェクトの実施見送りと宣言し、静かにサイコロを振りました。全員が固唾を飲

んで注視する中、サイコロは奇数と出ました。プロジェクトの実施見送りです。その瞬間マネージャーが言ったのです。「やはり、このプロジェクトは実施しよう！」啞然とするメンバーの前に、彼は言葉を続けました。今サイコロの目が奇数を示した瞬間に心の奥から「いや違う！」との声が聞こえた。自分の直感には、やはりプロジェクトの実施決定を教えている。自分はその直感を信じる。

マネージャーにとって、サイコロは自分の心を映し出す「鏡」だったので

将来計画を策定するにあたり、このような意思決定をしていかなければならない事態も想定される。その時には自分の心の中で、何回もサイコロを振り続けている自分があるだろう。

出張で秋田県のある村に向いた。夕刻、地元名士との会合の席で出された食材は、野うさぎや鹿の刺身、山鳥の炭火焼き、そして熊なべ。フランス料理ではこの時期とれる野生の鳥獣料理を、きどつて「ジビエ」と言うのだそうが、こちらでは「マタギ料理」である。

食事処には地元猟師たちが熊を射止めてみんなで笑っている写真が。何とかという団体から抗議の葉ピンがとんできそうだが、同席の面々は美味そうとしか見えな

いという。

ここで宿の親父がふところに抱えて持ってきたのが地元のとぶろく。聞けば十数軒の「醸造元？」が味を競っているという。特区を申請して村の活性化を、などというような安っぽい発想はなく、静かに綿々と受け継がれたこの土地の文化だと誇らしげに誰かが言う。ならばこちらもち心して頂こう。「つまい！思わず杯がすすむ。また、一筋縄ではいかない癖のある野生の肉を、静かになだめるかのような飲み心地。酒税法では、どぶろくは造るだけでも罰金。でも野暮なことは言つまい。所轄の役所も「黙認」するその存在は、法律が出来るすつとすつと前からこの地に根付いていた。飲みに行きたい人には、そつと場所を教えますよ。でもくれぐれも他言無用。



Photo Essay



当組合恒例の新年会は、1月11日午後4時より組合会館3階に於いて、御来賓・組合員総勢60名の出席を得て盛大に催されました。

及川専務理事の司会により、大久保理事長から新年の挨拶(別掲)を頂きました。

続いて富岡熊谷市長・清水行田市副市長、小島衆議院議員ほか御来賓

◆平成20年新年会開催◆

各位の祝辞を頂き、来賓15名の紹介のあと、松本熊谷市議会議長と岩田行田市議会議長お二人の乾杯の発声により懇親会に移りました。

組合員同士の挨拶や、御来賓と組合員が歓談する姿もみられ、和やかなうちにお互いの団結・相互親睦を深めたひとときでした。

●理事長年頭挨拶要旨●

平成20年は、天候に恵まれ上々のスタートを切ったかに見受けられたが、サブプライムローン問題に対する懸念が、あらゆるところに影響を及ぼしている。また、石油製品の値上がりも著しく、今後色々な物の値上げが見込まれる。一方で、株価は大きく値を下げしており、今後の動向に目が離せない。

昨年は、組合の役員改選において理事の若返りを図る等画期的な年であった。また、委員会制度も見直しを行い新たな常任委員会制度がスタートした。

昨年を表す漢字は「偽」であった。これは、食品業界における偽造問題が世の中を大きく騒がせた事によるものと思われる。流通業界に於いても大手百貨店の統合等依然として厳しい状況下にある。

当組合も、組織が一新されたので、組合員のご協力を得て活性化を図って行きたい。企業の経営面では引続き厳しい運営が予想されるが、スモールイズビューティフルで団結して活路を開いて行きたい。

第24回青経会 通常総会開催

熊谷流通センター青経会は、去る1月29日(火)熊谷市内に於いて、第25回通常総会を開催した。

清水代表幹事の挨拶の後、同氏を議長に選任し、平成19年度事業実績・同収支決算案を審議、可決承認され、続いて平成20年度事業計画・同収支予算案についても、全員の承認を得て可決承認された。また、監事退任に伴う補充については、堀口正史氏が選任された。

20年度の事業方針を、経営委員会は「流通センター将来構想の検討」をテーマに活動を行い、親組合の「将来計画検討特別委員会」へいろいろな提言を行っていき事とした。また、交流委員会は、「*会員の増強を図る *会員相互の連携を更に深める」をテーマとし、若手後継者の加入促進を図り会員企業間の連携と相互理解を深める事を目的に活動していく事とした。

引続き飯島賢二氏退会(規約定年)の挨拶を行い、19年度例会皆勤賞の



5名の会員を表彰した。

総会終了後、ご来賓としてお招きした商工中金柴崎支店長より祝辞を頂き、及川専務理事の発声で乾杯し、新年懇親会に移った。和やかな宴が進み会員同士の情報交換等、盛況のうちに予定時刻となり、小林副代表幹事の音頭で締めとなった。

★青経会平成20年度事業計画★

- 1月29日 総会
- 2月12日 経営・交流両委員会
- 2月15日 講演会(櫻井よしこ氏)
- 3月11日 例会(経営委員会)
- 4月8日 親睦ゴルフ
- 6月10日 例会(経営委員会)
- 8月5日 交流会(交流委員会)
- 9月 視察研修
- 10月14日 例会(経営委員会)
- 11月11日 交流委員会
- 12月9日 スタッフ会議

【委員会開催】

昨年10月に発足した常任委員会の第一回目の会議が1月から2月にかけて開催された。主な議題は今後の活動方針等についてであった。なお、それぞれの委員会における会議の結果は以下の通り。

- 総務委員会
運営管理、広報等、労務対策の3つの小委員会に分け活動していく。
- 環境委員会
上下水道、街路灯、植栽、環境衛生、交通安全等への取組みについて検討していく。
- 給油委員会
価格決定のルール化、給油所利用促進案等について検討していく。
- 金融委員会
従来からの、金融事業縮小方針に基づき、保全強化、回収促進を図っていく。
- 物流委員会
自動倉庫、物流センター会議室、共同配送等の利用率向上に取組んでいく。



2008年3月末の株と円の大予想

■ <株価予想の部> ■ ■ ■ ■ ■

3月末の時点で日銀総裁がいないという事態に陥っている。そもそも日銀の主な仕事とは『物価の安定』だけらしい。金融システムは金融庁が見ているので、日本銀行は物価の安定のみに注力していればいいとのことだ。ところで福井総裁は5年前の就任時、「デフレ脱却」を約束した。それが脱却できなかった。金融引き締め前までは、日本経済は株価とともに調子はよかったが、引き締めにより両方とも失速した。あきらかに金融政策の失敗であった。(高橋内閣参事官の話を要約) 激しいバッシングにもかかわらず、任期だけは全うした。ここに庶民の声—毎日新聞「仲畑流万能川柳」を3点掲載します。

福井さん バレなかったら
どうしたの (東京 KT氏)

ど素人 よく総裁が
務まるね (下田 枯れ葉)

総裁の 品格まるで
金利なみ (横浜 エイト)

さて、こうした影響をモロに受け、日本の株価は昨年の秋以降、軟調に推移している。“株は期待で買って現実で

売る”と言われている。米国のサブプライムローンの問題は一年前のこのコーナーでも取り上げた。しかしその全体像が明らかになるにつれ、損失が底なしに拡大していく恐怖から、投資家が株を手放していくことで、底がなかなか見えてこない。

そこに、経済産業省の北畑隆生事務次官が1月に行った講演で、インターネットで株売買を短期間に繰り返す個人投資家のデイトレーダーについて「最も墮落した株主」「バカで浮気で無責任」などと発言したことが、報道され問題となった。北畑次官は今年退官する予定で、その後は「スペインで余生を送りたい」などと話していたことでも有名。“経済産業省の次官＝経済オンチ”という国家機密を自ら世界に知らしめてしまった。

海外の投資家にもあきれられ、ニッポン株売りも加速し、3月末時点の株価は前年の17,287円を大きく27.5%ダウン。結局13,000円の予測が一番近い数字となり、最安値の12,000円が二番目となり、お二人が上位を占めた。

■ <円相場予想の部> ■ ■ ■ ■ ■

昨年の3月時点は円キャリートレードによる円安へのバイアスが強かった。FX取引で主婦が数億円儲けたとか、

話題にもなった。

今年は前述の株安により、余剰資金が株式市場を離れ、金・原油・商品の先物市場へと移ってしまった。よって株は下がり、金や原油など大幅に上昇した。

一方ロシアのプーチン大統領は「The Black is the Green」と発言。ドルは紙幣の色からthe Greenと言われている。つまりドル<The Green>が従来、基軸通貨であった。しかし今原油<The Black>こそが基軸通貨<The Green>であって、ドルではないと宣言した。

欧州旅行ではドルの支払いを断られたり、米国でさえドルよりもユーロが喜ばれたり、ドルの基軸通貨としての面目も丸つぶれと言ったところである。

結局、年度末の終値は99円87銭であった。前年より約18円の円高となった。こちらの日経平均の予想と同じく、ドル安円高の予測は少数派で98円の一番円高予測のお二人が一番となった。

二つの予測はかなり難しかったが、この表の両方に名前を載せた岩崎氏・高村氏・佐藤氏・小菅氏の4名の予測は驚嘆に値すると言えよう。

株価 12,525円54銭(3月末終値)

順位	役職・会社名	氏名	
1	埼玉物流(株)	高村好明	13,000
2	理事	岩崎研太郎	12,000
3	理事	佐藤良孝	13,800
4	理事	小菅克祥	14,083
5	専務理事	及川亨	14,500
6	理事	藤間憲一	14,500
7	事務局長	仲俣巧	14,750
8	理事	宮川進	14,900

円相場 99円87銭(3月末終値)

順位	役職・会社名	氏名	
1	理事	岩崎研太郎	98
1	(株)ヤマソウ	山崎康弘	98
3	副理事長	清水龍男	101
4	理事	佐藤良孝	103
5	監事	渡辺優	104.56
6	理事	小菅克祥	104.80
7	埼玉物流(株)	高村好明	105
8	副理事長	藤沢貞彦	105.50

株価・円ドル相場とも3位までの方を表彰致します。おめでとうございます。

熊谷中金会総会



熊谷中金会の第29回定時総会は2月15日ホテルガーデンパレス熊谷で開催され、所定の議案はすべて可決承認された。

総会後の講演会は、今回で5年目となる櫻井よしこ氏を講師に迎え、「この国の行方」と題して行われ、歯切れのよい語り口に約100名の出席者も熱心に聴き入っていた。

(講演要旨)

今、アメリカは大統領の予備選挙が行われておりそこには新しい風が吹いている。候補者5人の内、日本に目を向けているのは、共和党のマケイン候補だけであり、民主党のクリントン・オバマの両候補はアジアの中心となる国は中国だと思っている。民主党の勢いが強いが、共和党のマケイン候補が大統領になれば「天は我に味方した」感がある。

一方で、日本の政治家は私利私欲にとらわれており、国民の方を向いていない。自民党も民主党も今選挙になれば負けると思っており、選挙をやろうとしない。

昨年11月に福田首相がアメリカに行きブッシュ大統領と約1時間会談を行なった。話の内容は首相から給油再開・牛肉輸入量を増やすこと、大統領か

らは北朝鮮の拉致問題ぐらいであり、世界の大戦略の中での大きな話はなかった。時をほぼ同じくして、フランスのサルコジ大統領、ドイツのメルケル首相もアメリカに行きブッシュ大統領と丸一日会談を行なっている。会談の中心は、イランに核開発を行なわせないための対応策であった。中東に於けるイラクの治安は改善されており問題はイランにある中で、アメリカは、フランス・ドイツと世界の大戦略について話しあった。日本はこの問題について、相談されていない。いかに軽く見られているかがわかる。

国民は今の政治環境に慣れてしまっているが、かつて経済で一流であった日本という国家は壊れてしまっている。21世紀の経済は、「国際標準を取る」という国家戦略がないと成り立たなくなる。例えば、日本の携帯電話は素晴らしい機能を持っているが、国際標準がとれなかった。しかし、中国は国家戦略として国際標準をとった。これからは、国際標準をとった国が勝ち残れるのであり、民間に任せてはだめである。

中国は、毛沢東の「国家の力は軍事力」の思想以降この路線を曲げなかった。中国共産党幹部の中には、会社の経営者となり、富を築いている人がいる。政治は国民の姿を反映したものである。

日本は、604年聖徳太子の「和を以て貴と為す」という17条の憲法以来素晴らしい歴史がある。私は、「21世紀の世界のリーダーは日本になるべきである」と思っている。

● 理事会開催 ●

- 12月25日
第12号議案
「新規加入組合員について」
- 2月26日
報告事項
「各委員会の活動報告」
「組合の決算見通し」
「来年度の収支計画」
「高度化借入償還計画」
- 3月25日
第13号議案
「常勤役員の定年制について」
第14号議案
「高崎ターミナルビル(株)の株式売却について」
12～14号議案原案通り承認



組合員の動き

新規加入

有限会社ユーアンドユー
代表者 宇津木 優
建築・内装工事業
熊谷市間屋町3丁目4番18号
1月1日

脱退

古河エレコム株式会社
12月31日



事務局日誌

- 12月25日 理事会
- 26日 春秋会忘年会
- 1月11日 組合新年会
- 17日 総務委員会
- 22日 給油委員会
- 23日 県金融課来組
- 29日 物流委員会
- 29日 青経会総会
- 2月6日 金融委員会
- 8日 環境委員会
- 12日 青経会経営・交流委員会
- 19日 正副理事長会議
- 26日 理事会
- 3月7日 商団連事務局長会
- 11日 青経会例会
- 17日 正副理事長会議
- 25日 理事会
- 4月4日 広報委員会
- 8日 青経会コンペ
- 11日 新入社員研修

ソシオ寄席開催



春秋会の忘年会在、12月26日ホテルガーデンパレスで開催された。

当日のイベントは、「ソシオ寄席」で、落語家の立川談慶師匠と弟子の三四楼



さんによる落語や小話に40名の参加者は大いに盛り上がり、楽しいひとときを過ごしていた。